

当院の感染予防対策について

新型コロナウイルス（COVID-19）

感染予防に関する当院の感染対策

いつも、江間歯科医院、キッズエマデンタルにご来院いただき誠にありがとうございます。当院では新型コロナウイルス感染予防に関して、厚生労働省、日本歯科医師会、CDC（アメリカ疾病予防管理センター）、ADA（アメリカ歯科医師会）、国内外の最新の論文や学会発表等より最新情報を収集するよう努めております。それら科学的な情報に基づき、以下に示します、現時点で考える最善の感染予防体制を整備して診療しております。

ママサポートについては感染予防対策を十分にとり、お子様の預かり人数を制限した上で行ってまいります。患者さん向けの教室（セミナー）についても感染予防対策を十分に行い再開しています。日程などは「055-226-5582」までお問い合わせください。

患者様へのお願い

新型コロナウイルス院内感染を防ぐため、患者様には以下の対応を徹底していただきますよう、お願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が疑われる方

次の症状がある方はいったん治療をキャンセルしていただき、山梨県のお住まいの地域の保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- ・発熱(高熱)がある。（目安は37.5度以上）
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（咳、呼吸苦）がある
- ・嗅覚、味覚異常がある
- ・14日以内に新型コロナウイルス感染症の流行地域から帰国した
- ・新型コロナウイルス感染症の方および感染症検査を行なっている方と濃厚な接触があった

※微熱や軽度な咳の場合でも万が一の感染を考慮し、当院の判断によりご予約の延期等をお願いしております。

上記にはあてはまらない方（通常の方）

当院では徹底した感染管理体制と、十分な空間を確保した安全な診療体制を整えています。来院時には、マスク着用や人混みは避けるなど、感染管理に十分に配慮してください。

現在は、以下のような診療体制で診療を行っております。

- 1) 1日あたりの来院患者数の制限（感染予防のため）
- 2) ご予約のない方・マスクを着用いただけない方・感染症状がある方の入室規制
- 3) 分散しての来院
- 4) 一部診療の自粛（詳しくは担当医がご相談させていただきます）
- 5) 75歳以上の後期高齢者に該当する方で不安のある方への診療制限
- 6) コントロールされていない基礎疾患（糖尿病など）をお持ちの方への診療制限

*必要に応じて、患者様へ予約の延期等のご連絡をさせていただいております。患者様には大変ご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

お口の中の細菌を除去する処置（クリーニング、むし歯治療、歯周病治療、根管治療など）や予防処置（検査、歯磨き・舌磨き指導など）はもちろん、その他必要性の高い治療や、専門性が高い処置も行っております。

以上は患者様および当院スタッフの安全のため、そして医療崩壊を防ぐために現時点で考える最善の体制です。今後につきましては、厚生労働省、日本歯科医師会、CDC（アメリカ疾病予防管理センター）、ADA（アメリカ歯科医師会）、国内外の最新の論文、学会発表等の状態によって変更となる可能性がございます。来院前に、当院ホームページのブログ等にて最新のお知らせをご確認いただければ幸いです。

来院される全ての方へのお願い

当院へご来院される方は、以下の感染予防対策へのご協力をお願いいたします。

□手洗い・手指消毒

ご来院される全ての患者様に、入室時に手洗い・手指消毒をお願いしております。スタッフがご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

□検温

全ての患者様に、非接触型体温計による体温測定をお願いしております。

□マスク着用

ご来院の際はマスクをご着用ください。特に、待合室にてお待ちの際はマスクを着用いただきますようお願いいたします。

□診療室入室前・退室時の手指消毒

当院では、待合室と診療室を清潔レベルを変えて管理しております。

院内感染防止のため、診察室へ向かう前、退室される時にスタッフより手指用アルコール消毒の噴霧をさせていただきます。

□治療前のうがい

治療前に洗口剤（口腔内消毒）もお願いしております。

※歯科治療前に過酸化水素水を用いたうがいを行うことをアメリカ歯科医師会が推奨しています。

□咳エチケット

治療中は、お口を開けて治療を受けていただきます。

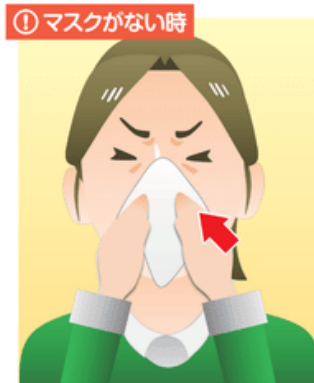
万が一くしゃみや、咳き込んでしまう場合はティッシュやハンカチ、上着の内側や袖で口元や鼻を覆う「咳エチケット」にご協力ください。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう



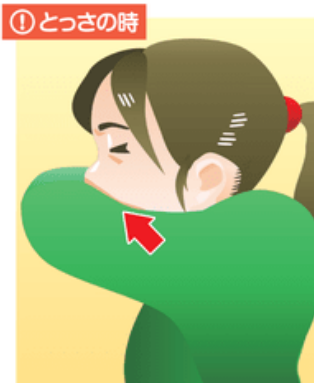
① マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。



② ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

ティッシュ:使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。
ハンカチ:使ったらなるべく早く洗いましょう。



③ 袖で口・鼻を覆う

マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。

□喫煙について

中国武漢の新型コロナウイルスに関する論文によると、新型コロナウイルスによる肺炎の最大の悪化因子として喫煙が指摘されており、WHOも喫煙を特定の危険因子として特定しました。WHOは喫煙者と受動喫煙者の両方のリスクを最小限に抑えるため、喫煙をやめるよう要請しています。

Variables	Univariate analysis			Multivariate analysis		
	OR	95% CI	P	OR	95% CI	P
Age (≥60 years vs. <60 years)	10.575	2.095-53.386	0.004	8.546	1.628-44.864	0.011
Sex (male vs. female)	1.914	0.512-7.156	0.335			
History of smoking (yes vs. no)	12.187	1.762-84.306	0.011	14.285	1.577-25.000	0.018
Hypertension (yes vs. no)	2.259	0.394-12.958	0.360			
Diabetes (yes vs. no)	4.741	0.695-32.350	0.112			
Maximum body temperature at admission (≥37.3 vs. <37.3°C)	9.709	1.176-83.330	0.035	8.999	1.036-78.147	0.046
Cough (yes vs. no)	1.063	0.295-3.834	0.925			
Respiratory failure (yes vs. no)	8.021	2.022-31.821	0.003	8.772	1.942-40.000	0.016
Respiratory rate (>20 vs. ≤20 breaths/min)	3.952	0.473-33.333	0.204			
Blood oxygen saturation (≤93% vs. >93%)	2.259	0.394-12.958	0.360			
Heart rate (≥100 vs. <100 beats/min)	1.536	0.315-7.519	0.596			
Severe illness (yes vs. no)	4.651	0.930-23.250	0.061	2.524	0.339-18.784	0.336
D-dimer (>1 vs. ≤1 µg/mL)	1.799	0.363-8.928	0.742			
Albumin (<40 vs. ≥40 g/L)	12.536	2.409-65.233	0.003	7.353	1.098-50.000	0.003
WBC (≥4 vs. <4 × 10 ⁹ /L)	1.488	0.163-2.770	0.582			
Lymphocytes (<1.1 vs. ≥1.1 × 10 ⁹ /L)	1.600	0.167-2.336	0.485			
Neutrophils (≥1.8 vs. <1.8 × 10 ⁹ /L)	2.037	0.236-17.544	0.518			
Platelets (<100 vs. ≥100 × 10 ⁹ /L)	2.259	0.394-12.958	0.360			
ALT (>50 vs. ≤50 U/L)	1.032	0.231-2.148	0.923			
AST (>40 vs. ≤40 U/L)	2.088	0.443-9.901	0.352			
Creatinine (>111 vs. ≤111 µmol/L)	6.800	1.424-32.470	0.016	0.713	0.021-1.350	0.062
Erythrocyte sedimentation rate (>15 vs. ≤15 mm/1 h)	2.625	0.574-12.048	0.213			
Procalcitonin (≥0.5 vs. <0.5 ng/mL)	3.831	0.551-27.027	0.071	0.174	0.012-2.353	0.696
C-reactive protein (>8.2 vs. ≤8.2 mg/L)	5.988	1.179-30.30	0.031	10.530	1.224-34.701	0.028
Partial pressure of oxygen (<60% vs. ≥60%)	1.742	0.167-3.312	0.535			

OR: Odds ratio; CI: Confidence interval; WBC: White blood cell; ALT: Alanine transaminase; AST: Aspartate aminotransferase.

- 参考 Liu, Wei, et al. "Analysis of factors associated with disease outcomes in hospitalized patients with 2019 novel coronavirus disease." Chinese medical journal (2020).

WHOに関しては、コクラン「COVID-19特集」webサイトより（2020年4月22日時点）

<https://www.cochrane.org/ja/effective-options-for-quitting-smoking-during-the-covid-19-pandemic>

□スタッフのマスクおよび医療用ゴーグル着用

患者様を感染リスクから守るためには、スタッフの感染予防も重要です。そのため当院の全ての医療スタッフが感染予防対策を実施しています。治療等の説明時もマスクを着用しての対応をさせていただいております。大切なお話をする際にマスクを着用することは不本意ではありますが、患者様とスタッフの安全を最優先とさせていただいております。

目からの感染も報告されているため、アメリカ歯科医師会の推奨基準にもとづき治療時は高性能マスク（N95規格と同等のマスク）もしくはサージカルマスクとゴーグルやフェイスシールドの装着を併用しています。

- 参考 ADA（アメリカ歯科医師会）マスクおよびフェイスシールドガイドライン

<https://success.ada.org/~media/CPS/Files/COVID/>

[ADA_Interim_Mask_and_Face_Shield_Guidelines.pdf?](#)

[_ga=2.87239128.152557806.1587519803-1023293145.1587519803](#)

当院の院内感染予防への取り組み

江間歯科医院、キッズエマデンタルは、
治療・予防においても、感染対策においても、最善を尽くしています。

当院ではこれまで、治療や予防においても妥協することなく、最善を追求してまいりました。

4月20日にNHK『あさイチ』に出演された元国立感染症研究所・口腔科学部長の花田信弘先生（鶴見大学歯学部教授）は、お口の中に残っている細菌が、新型コロナウイルス感染時の重症化につながるという見解を示されました。

つまり、歯科医院において、細菌を原因とする病気（むし歯、歯周病など）の治療や予防処置（正しい歯磨き・舌磨きの指導なども含む）を行うことが、新型コロナウイルス肺炎の重症化予防につながるというものです。

現在、歯科の病気（むし歯、歯周病、歯の根の病気など）はほとんどが細菌による感染症です。そのため当院では、細菌の居場所を極限まで少なくする精密な治療を行なってきました。

さらに、むし歯や歯周病にならないための「予防」にも力を入れております。「メディカルトリートメントモデル」といわれる極めて予防効果の高い診療スタイルを導入し、様々なリスク検査や生活習慣の指導などを実施することを通して、**お口の中の細菌を最小化するよう努めてきております。**

このように、日々の診療における品質の向上とともに、新型コロナウイルスに限らずあらゆる感染症への対策として、スタッフへの教育や医療機器の導入まで総合的な体制を整備しております。

●参考 NHK『あさイチ』2020年4月20日放送内容についてはこちら <https://www.j-cast.com/tv/2020/04/20384574.html?p=all>

■滅菌士の資格を持った専属スタッフによる器具消毒

当院の器具の消毒は専属で専門の知識を有した有資格者によって行われています。以前より、タービン（歯を削る器具）の滅菌管理が問題視されています。当院では全患者様一人ひとりに滅菌済みのタービンを使用しています。

■世界で最も厳格なクラスB滅菌器

国内の一般的な歯科医院で用いられている滅菌器は”クラスN滅菌器”とよばれ、滅菌が不十分な場合があります。

当院では、良好な治療結果ができるかぎり長持ちするよう以前から感染対策にも力を入れており、世界で最も厳格とされる欧州の滅菌基準を満たした滅菌器（クラス

B滅菌器)を導入し、確実な滅菌を行なっています。クラスB滅菌器は国内では義務付けられておらず、また、一般的なクラスN滅菌器に比べて費用も5~10倍かかるため普及が進んでいないのが現状です。

■口腔外バキュームの使用

歯科医院においては、口腔外バキューム(吸引装置)が感染対策に有効であると報告されております(日本歯科医学会連合)。当院では、5台の口腔外バキュームを以前より使用しております。

■患者様ごとの使い捨て・滅菌パック

以前より、医療用グローブ、紙コップ、エプロン等の滅菌が難しいものについては使い捨て製品を使用し、患者様ごとに使い捨てています。根管治療やむし歯治療に用いる器具・機材は患者様毎に完全滅菌して使用しております。

■密閉・密集・密接を防ぐ完全個室の診療室

新型コロナウイルスに限らず、感染症対策には、人と人の距離の確保と人口密度の低い広い空間の確保が欠かせません。当院では、設計段階から全室個室とすることで、感染管理を確実に実施できる診療体制です。

歯科医療は本来、しっかりとした感染管理を行なっていれば患者様が感染する可能性は極めて軽微です。しかし、術者の場合は新型コロナウイルス感染のリスクがゼロではありません。術者が感染すると歯科医療崩壊を招きかねません。以下、当院の新型コロナウイルス感染予防対策を記載いたします。ご理解の程よろしくお願ひします。

■高機能マスク(サージカルマスク/N95マスク)、ゴーグル/フェイスシールド、サージカルキャップを着用

ADA(アメリカ歯科医師会)によると、マスクとともにゴーグルまたはフェイスシールドを着用しない場合、医療者への感染リスクが高まることを指摘しています。さらに、医療者が使用するマスクには、N95またはN95と同等のマスクが医療者への感染リスクが低いとされています。この指針に従い、当院では全ての医療スタッフがN95マスクを着用しております。これらの装備に加えて、サージカルキャップ(医療用帽子)も全員が着用しております。

●参考：<https://success.ada.org/~media/CPS/Files/COVID/>

[ADA_Interim_Mask_and_Face_Shield_Guidelines.pdf?](https://success.ada.org/~media/CPS/Files/COVID/ADA_Interim_Mask_and_Face_Shield_Guidelines.pdf?_ga=2.116460358.152557806.1587519803-1023293145.1587519803)

[_ga=2.116460358.152557806.1587519803-1023293145.1587519803](https://success.ada.org/~media/CPS/Files/COVID/ADA_Interim_Mask_and_Face_Shield_Guidelines.pdf?_ga=2.116460358.152557806.1587519803-1023293145.1587519803)

■ ラバーダム（ゴムシート）を用いた治療

ラバーダムはエアロゾル対策としても効果的であるとADA(アメリカ歯科医師会)のガイダンスに記載されています（処置の内容によって使用できない場合もございます。あらかじめご了承ください）。当院では今後積極的に使用を行います。

●参考 https://www.ada.org/~media/CPS/Files/COVID/ADA_COVID_Int_Guidance_Treat_Pts.pdf?utm_source=adaorg&utm_medium=covi%20d-resources-lp&utm_content=cv-pm-ebd-interim-response&utm_campaign=covid-19

■院内消毒の徹底

診療後の診察台やチェア、コンピューターなどの周辺機器等のもとより、ドアノブや取っ手、待合室ソファ、お手洗い等についても毎日複数回消毒しています。

■院内の換気

新鮮な空気が室内に取り入れられるような換気管理をこまめに行なっています。

■受付カウンターへのアクリル板の設置

会話時の飛沫による感染リスクを最小化するため、受付カウンターにアクリル板のスクリーンを設置いたしました。患者様とスタッフの安全のためご理解の程お願いいたします。

■院内スタッフの毎日の検温および手指消毒

朝の出勤時に、スタッフ全員の検温を実施しています。また、こまめに手指消毒も実施しています。

■待合室における雑誌、新聞の撤去

新型コロナウイルスの特徴を考慮し、皆様にはご不便をおかけしますが、ウイルス付着リスクのある物品等は極力撤去いたしました。

■スタッフの体調管理と感染予防教育

診療室内の人口密度の低下と万が一のリスクを考慮し、スタッフの勤務人数を調整しています。また、新型コロナウイルスの特徴を踏まえた新たな感染予防対策を徹底するため、当院スタッフは通常以上に緊張感を持って業務を行なっています。収束までにはまだ時間がかかるという前提のもと、スタッフの体調管理を徹底させる、感染予防教育についても力を入れて行っています。

通院をいったん休止される患者様へのお願い

期間中に症状が悪化しないよう、また、新型コロナウイルスに感染した際の重症化を予防するためにも、以下をおすすめしております。

- ①歯磨き、歯間ブラシ、フロスなどによるホームケアを継続しましょう。
- ②規則正しい生活とバランスのよい食事を心がけましょう。
- ③十分な睡眠をとりましょう。
- ④新型コロナウイルス重症化を防止するためにも禁煙に努めましょう
- ⑤ストレスが増加しています。食いしぼりや歯ぎしりのある方はマウスピースを忘れずに装着しましょう。
- ⑥休止前には次回のご予約をお取りください（自粛期間が空けると予約が集中する可能性があります）。

当院からのメッセージ

当院では、厚生労働省、CDC（アメリカ疾病予防管理センター）、ADA（アメリカ歯科医師会）などの指針を参考にしながら、考えうる最善の感染対策を実施し、診療を行なっております。

アメリカ歯科医師会の指針には、開業医が（休業せずに）緊急を要する診療を行うことによって、歯の痛みを訴える患者様が救急病院や各病院の救急外来に行くことによる医療崩壊を避ける、という意義を明示しています。また、元国立感染研究所口腔科学部長、花田信弘先生（鶴見大学歯学部教授）からは、お口の中の細菌が原因で、新型コロナウイルスに感染した場合に重症化（呼吸困難など）するリスクが高まる見解が示されました。このような背景を受け、感染予防には最大限の注意を払いながら診療を継続しております。

当院だけでなく、全国の多くの歯科医院も懸命に新型コロナウイルス感染対策や医療物資不足、経営危機などによる歯科医療崩壊の危機を食い止めようと尽力しております。ご理解ご協力の程、何卒よろしく申し上げます。